

## 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅷ

山田 和彦・工藤 孝浩

Kazuhiko Yamada and Takahiro Kudo:

Landing Fishes on Misaki Fisheries Market, from Sagami Bay, Ⅷ

### はじめに

筆者らは、相模湾の魚類相を明らかにするために、1984年から三崎魚市場での調査を継続的に行っている。前報までに482種を報告した(山田・工藤, 1998)が、その後新たに16種が追加されたので報告する。

### 調査方法

調査は、三崎魚市場に水揚げされる魚のうち、相模湾で採集されたものについて種類、採集場所、採集方法を記録した。調査期間は1997年10月から1998年9月までの間で、合計42回、1ヶ月平均4回の調査を行った。ここでいう相模湾とは、伊豆半島石廊崎と房総半島洲ノ崎を結んだ線以北の海域のうち、観音崎―富津岬以北の東京湾を除く海域である。魚類の採集場所を図1に示す。初記録種及び現場での同定が困難なものは、標本として採集し、横須賀市自然博物館魚類資料(YCM-P)、神奈川県立生命の星・地球博物館魚類資料(KPM-NI)、国立科学博物館魚類資料(NSM-P)として登録した。また、標本の入手が困難なものは、写真で記録した。魚種名、分類学的配列および全般的な分布記録などは中坊編(1993)に従った。

### 海況について

調査期間中の相模湾付近における海況は、概略次のとおりであった。

1997年10～5月の黒潮は、小蛇行の通過が数回みられたものの、概ね直進形流路で経過し八丈島と三宅島の間を通り、房総半島に接岸して流れた。4月末には都井岬沖で比較的規模が大きい蛇行が発生し、内側に冷水塊を伴って6月下旬に遠州灘沖まで東進した。黒潮は以降9月まで冷水塊を迂回して伊豆諸島付近で大きく蛇行し、蛇行東進初期には北上部から相模湾に数度の黒潮分枝流の流

入があった。

相模湾周辺の水温は、ほぼ全調査期間を通じて、黒潮系暖水の影響を受けて平年並みから高めで推移した。特に、2月中旬と4月中旬～5月上旬には3℃以上、12月上旬、3月上旬、6月上旬および7月上旬には2℃以上平年より高い水温が記録された。

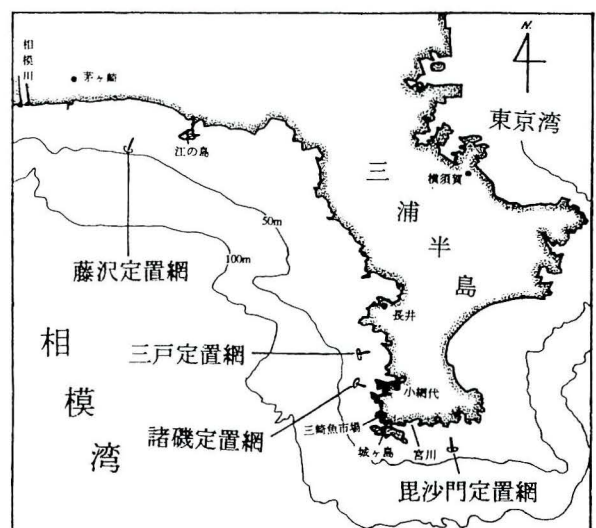


図1. 採取地及び周辺海域の水深

### 調査結果

以下に本目録に追加される各魚種の採集年月日、採集場所および採集方法、全長(TL)、登録番号、分布記録等を述べる。

#### 483. シギウナギ *Nemichthys scolopaceus*

1998年9月20日、諸磯定置網、TL:430mm  
YCM-P35355

世界中の温帯から熱帯の深海に分布する。相模湾では西湘定置網(林・西山, 1980)、小田原(末広, 1968)から記録がある。前日まで強い南風が吹

いており、沿岸に運ばれたものと思われる。

484. ナミマツカサ *Myripristis kochiensis*

1998年9月9日、藤沢定置網、T L : 85mm  
YCM-P35356

本種は、高知産の標本に基づき1996年に新種記載された(Randall・山川, 1996)。相模湾では、伊豆海洋公園(瀬能・織田, 1998)から記録があるが、鹿児島県以北から報告された「アカマツカサ」は本種であると考えられる(Randall & Yamakawa, 1996)ので、相模湾からこれまで記録された「アカマツカサ」(林・西山, 1980など)を再検討する必要がある。

485. ウミテング *Eurypegus draconis*

1998年9月20日、藤沢定置網、T L : 45mm  
YCM-P35357

千葉県以南のインド・太平洋に分布する。相模湾では天神島(林・伊藤, 1974)から記録があるが、稀である。

486. ホッケ *Pleurogrammus azonus*

1998年3月29日、毘沙門定置網、T L : 560mm  
YCM-P35358

茨城県以北、オホーツク海、千島列島周辺に分布するとされるが、冷水の影響の強い年などに相模湾でも採集され、城ヶ島・小田原(木幡・亀井, 1981)、江ノ島(江ノ島水族館、)真鶴(Abe, 1963)から記録がある。本年のこの時期も、相模湾付近は冷水の影響を受けていたと思われ、横浜沖からホッケ、スケソウダラが採集されている(工藤・中村、印刷中)。

487. シキシマハナダイ *Callanthias japonicus*

1998年9月6日、洲崎沖釣り、T L : 285mm  
YCM-P35359

ドイツ人ドフラインが油壺で採集した標本に基づき新種記載された(Franz, 1910)。南日本から台湾まで分布する。昭和10年頃、夏季には三崎産の本種が他の雑魚と東京市場に出荷されていた(岡田ほか, 1930)。やや深い岩礁域などに生息し、雑魚として扱われるため記録は少ない。

488. アカネキントキ *Priacanthus blochii*

1998年1月25日、藤沢定置網、T L : 187mm  
YCM-P35360

宮崎県以南のインド・太平洋の熱帯海域に広く分布する(岩槻ほか, 1997)。ミナミキントキ *P. sagittarius* とは体が長く、背鰭第1~3棘間の鰭膜に黒斑がないことで、ハウセキントキ *P. hamrur* とは尾鰭後端はまるく上下両葉が伸びないこと、鰓耙数が少ないことで区別される。相模湾初期記録であり、本種の分布の北限となる。なお、山

田・工藤(1993)が報告したゴマヒレキントキ *P. cruentatus* (YCM-P17117)を再検討したところ本種に同定されたので、新たに採集されたゴマヒレキントキのデータを以下に示す。また、ゴマヒレキントキの相模湾初期記録は、林(1995)の天神島からのものとなる。

406. ゴマヒレキントキ *Priacanthus cruentatus*

1998年9月15日、三戸定置網、T L : 169mm  
YCM-P35361

489. キンセンイシモチ *Apogon properuptus*

1998年9月20日、諸磯定置網、T L : 35mm  
YCM-P35362

千葉県以南のインド・西太平洋に分布する。相模湾では伊豆海洋公園(徳永, 1995)から記録がある。シギウナギ同様、強い南風によって入網したのと考えられる。

490. クボアジ *Atropus atropus*

1998年9月15日、三戸定置網、T L : 48mm  
YCM-P35363

インド・西太平洋の温暖海域に分布するが、日本では小笠原、三重県、宮崎県、兵庫県から記録があるのみの稀種である。相模湾からは初記録であり、また本種の幼魚の記録としても重要である。

491. ギンカガミ *Mene maculata*

1997年10月5日、藤沢定置網、T L : 155mm  
YCM-P35364

南日本以南、インド・太平洋海域に分布する。相模湾では、松原(1955)の記録があるが、稀である。

492. ノトイズズミ *Kyphosus bigibbus*

1998年9月15日、三戸定置網、T L : 123mm  
YCM-P35365

本州中部以南、インド・太平洋海域に分布する。相模湾では城ヶ島水試前の岸壁(工藤ほか, 1992)、伊豆海洋公園(坂井, 1991)から記録がある。三崎では、イズズミ *K. vaigiensis* より多いようである。

493. ミゾレチョウチョウウオ *Chaetodon kleinii*

1997年11月3日、三戸定置網、T L : 18mm  
YCM-P35366

まだ幼魚で、成魚の色彩が完全に現れていないが、頭頂から眼を通り、腹部まで伸びる黒色帯があること、腹鰭が暗色であることなどより本種とした。千葉県以南のインド・太平洋海域に分布し、三浦半島南西部(工藤・岡部, 1991)から記録がある。

494. アブラヤッコ属の一種 *Centropyge* sp.

1998年8月17日、小網代定置網、T L : 20mm  
KPM-NI-5373

本個体は体形がまるく、体色は暗灰色、側線が体側の上方を通る。鱗が比較的荒い。まだ未発達だが



前鰓蓋骨に後方へ向かう棘がある。背鰭16棘、臀鰭3棘などから本属とした。相模湾からは本属魚類は6種類記録されているが、どの種の幼魚であるかは検討中である。

495. マツバスズメ *Chromis fumea*

1998年8月17日、毘沙門定置網、TL:105mm  
YCM-P35367

千葉県以南、西オーストラリアまで分布する。相模湾では三浦半島南西部（工藤・岡部，1991）、芝崎（荻原・長谷川，1990）、田ノ浦（東ほか，1989）から記録がある。

496. テングハギモドキ *Naso hexacanthus*

1998年9月20日、藤沢定置網、TL:86mm  
YCM-P35368

南日本以南、インド・太平洋に分布する。相模湾では天神島（林，1995）から記録がある。

497. ウマヅラハギ属の一種 *Thamnaconus* sp.

1997年10月5日、藤沢定置網、TL:147mm  
NSMT-P55771

本種は鞘状鱗の関節部が非可動性、第一背鰭棘は溝に完全に納まらない、第一背鰭棘前縁の小棘は下向き、尾柄に剛毛状の小棘はない、背鰭36条、臀鰭34条などの特徴よりウマヅラハギ属と思われるが、日本産の本属魚類に該当するものがなく、現在検討中である。

498. ハナキンチャクフグ *Canthigaster coronata*

1998年8月17日、毘沙門定置網、TL:43mm  
YCM-P35369

相模湾以南、インド・西太平洋・ハワイに分布する。相模湾では天神島（林・伊藤，1974）から記録がある。シマキンチャクフグ *C.valentini* より少ないようである。

おわりに

本報告を作成するに当たり、標本登録の便をはかってくださり、種々ご教示いただいた横須賀市自然博物館の林公義氏、神奈川県立生命の星・地球博物館の瀬能宏博士、国立科学博物館の松浦啓一博士、資料収集にご協力いただいた京急油壺マリンパークの竹内経久氏、今井道広氏、丸タ丸、共栄丸、丸共丸、諸磯丸、三崎沿岸漁業協同組合ほかの方々に深く感謝する。

文献

- Abe, T., 1963. Unusual occurrences of several species of boreal, amphipacific and bathypelagic fishes in Sagami Bay and adjoining waters during the first half of 1963, a coldwater season in Southern Japan. *Bull. Tokai. Reg. Fish. Res. Lab.*, (37): 27-35.
- 江の島水族館，1979. たのしい水族館，江の島水族館，藤沢市。
- Franz, V., 1910. Die japanische knochenfische der Sammlungen Haberer und Doflein. In *Beiräte zur Naturgeschichte Ostasiens. Abhandlungen der mathphys. Klasse der K. Bayer. Akad. der Wiss.*, 4, Supple.-Bd., 1: 1-135, pls. 1-11.
- 萩原清司・長谷川孝一，1990. 葉山町芝崎周辺の沿岸魚類。神奈川自然誌資料，(11): 103-110.
- 林 公義，1995. 天神島自然教育園海域の魚類相。横浜国立大学環境科学センター紀要，21(1): 243-258.
- 林 公義・伊藤 孝，1974. 横須賀市佐島天神島・笠原沿岸の魚類。横須賀市博物館雑報，(20): 37-50.
- 林 公義・西山喜徳郎，1980. 西湘定置網で漁獲された魚類。神奈川自然誌資料，(1): 15-27.
- 東 禎三・林 公義・長谷川孝一・足立行彦・萩原清司，1989. 伊豆半島須崎、田ノ浦湾周辺海域の魚類。Bull. Coll. Agr. & Vet. Med. Nihon Univ., (46): 175-185.
- 岩槻幸雄・櫻木巨樹・山下剛司・木村清志，1997. 宮崎県日南海岸で採取されたアカネキントキ（新称）*Priacanthus blochii*とウスベニキントキ（新称）*P. titchi*。魚類学雑誌，44(2): 101-106.
- 木幡 孔・亀井正法，1981. 大冷水塊消滅に伴う特異海況と相模湾における珍種の漁獲記録。水産海洋研究会報(39): 128-130.
- 工藤孝浩・岡部 久，1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類。神奈川自然誌資料(17): 63-72.
- 松原喜代松，1995. 魚類の形態と検索Ⅰ－Ⅲ。石崎書店，東京。
- 中坊徹次編，1993. 日本産魚類検索全種の同定。1474pp.，東海大学出版会，東京。
- 岡田彌一郎・内田恵太郎・松原喜代松，1935. 日本魚類図説。474pp.，三省堂，東京。
- Randall, J.E. and T. Yamanaka, 1996. Two new soldierfishes (Beryciformes: Holocentridae: Myripristis) from Japan. *Ichthyol. Res.*, 43 (3): 211-222.
- Randall, J.E.・山川 武，1996. 日本産アカマツカサ属魚類の2新種。和文要旨。魚類学雑誌 43(2): 149-150.
- 坂井恵一，1991. 日本のイスズミ属魚類は4種。I.O.P. Diving news, 2 (8): 2-5.
- 瀬能 宏・織田玲二，1998. ナミマツカサ（幼魚）。I.O.P. Diving news, 9 (3): 1.
- 末広恭雄，1968. 地震に対する魚類の異常生態。京急油壺マリンパーク年報，(1): 4-11.
- 徳永穂高，1995. 伊豆海洋公園の海。I.O.P. Diving news, 6 (3): 7.
- 山田和彦・工藤孝浩，1993. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅳ。神奈川自然誌資料，(14): 49-52.
- 山田和彦・工藤孝浩，1998. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅶ。神奈川自然誌資料，(19): 5-11.

（山田：おさかな普及センター資料館，工藤：神奈川県水産総合研究所）



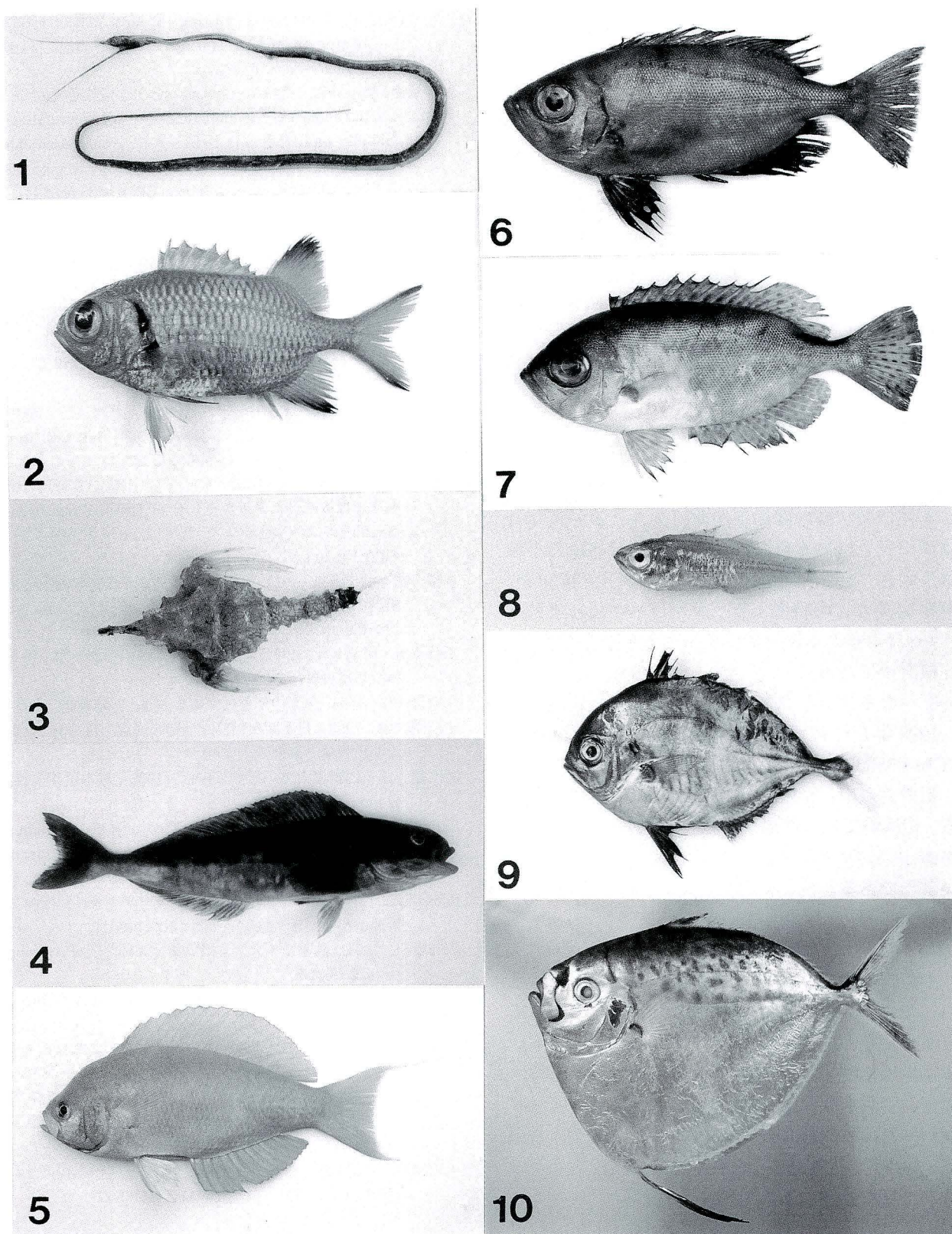


図2. 1. シギウナギ *Nemichthys scolopaceus*; 2. ナミマツカサ *Myripristis knochiensis*; 3. ウミテング *Eurypegasus draconis*; 4. ホッケ *Pleurogrammus aznus*; 5. シキシマハナダイ *Callanthias japonicus*; 6. アカネキントキ *Priacanthus blochii*; 7. ゴマヒレキントキ *Heteropriacanthus cruentatus*; 8. キンセンイシモチ *Apogon properuptus*; 9. クボアジ *Atropus atropos*; 10. ギンカガミ *Mene maculata*.



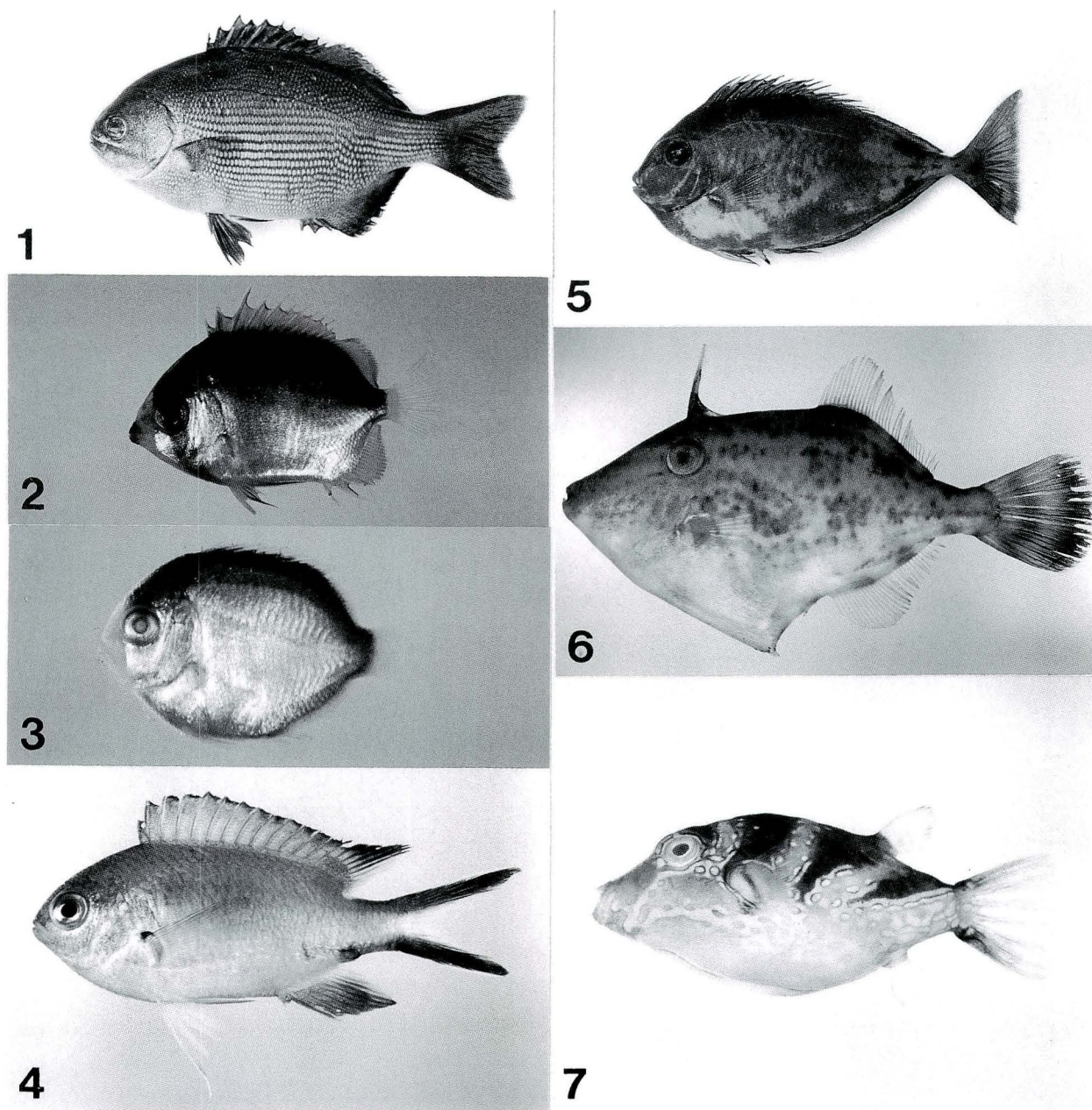


図3. 1. ノトイズズミ *Kyphosus bigibbus*; 2. ミゾレチョウウオ *Chaetodon keinli*; 3. アブラヤッコ属の一種 *Centropyge* sp.; 4. マツバスズメダイ *Chromis fumea*; 5. テングハギモドキ *Naso hexacanthus*; 6. ウマヅラハギ属の一種 *Thamnaconus* sp.; 7. ハナキンチャクフグ *Canthigaster coronata*.